

令和5年度特別展「メナシのアイヌとともに生きる ～加賀伝蔵・松浦武四郎・南摩綱紀～」のお知らせ！

幕末の探検家松浦武四郎とも深い交友関係にあった、アイヌ語通訳加賀伝蔵、会津藩士南摩綱紀とメナシ地方のアイヌたちとの関わりについてご紹介します。

- 期 間 ①令和5年7月4日(火)～19日(水)
②7月25日(火)～8月31日(木)
- 場 所 別海町郷土資料館附属施設加賀家文書館
- その他 展示資料については、パネル展示となり、内容が常設展示と重複する部分もありますのでご了承ください。なお、本展示資料は、日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程 普及啓発展示会として、①7月22日(土)～23日(日)ウポポイ(民族共生象徴空間)白老町、②9月29日(金)～11月26日(日)松浦武四郎記念館(三重県松阪市)で展示されます。



夏休み 奥行臼トロッコサンデーのお知らせ！

夏休み期間中の毎週日曜日限定で、旧奥行臼駅に残る約1kmの線路を使ったトロッコ乗車体験(無料)を提供します。ご来場お待ちしております。

- 日 時 7月23日～8月27日までの毎週日曜日
午前10時～午後4時30分
(乗馬体験は午後2時まで)
- 同時開催 無料乗馬体験(旧奥行臼駅通所敷地) ※7/23・7/30・8/27のみです。
鉄道模型展&写真展(奥行会館内)



サマースクール

「大昔のべつかい・勾玉づくり」のお知らせ！

古代の人々の生活に挑戦し、その知恵と工夫を学んでみませんか。

- 日 時 令和5年7月28日(金)
①午前の部 10:00～12:00
②午後の部 13:30～15:30
- 内 容 ①お話 大昔のべつかい②体験活動 勾玉づくり
- 場 所 郷土資料館
- 対象者及び募集人員
午前・午後の部共に小学校以上 10名(親子参加可)
- 申込期間 7月3日(月)～27日(木) 電話かメールにて「お名前・電話番号」を連絡ください。



西別湿原ヤチカンバ見学会の開催しました。

6月3日(土)参加者12名で開催されました。講師は、道東野生動物調査会深津恵太氏と当館文化財担当戸田博史主幹です。郷土資料館で講師の戸田主幹と深津氏の説明を聞いた後、現地に移動してヤチカンバの観察を行うとともに、深津氏が西別湿原に自生する植物についての解説を行いました。貴重なヤチカンバや湿原の植物について理解を深めることが出来ました。



「国鉄標津線鉄道模型展」を開催しました。

6月17日(土)～18日(日)生涯学習センターみなくにて開催しました。釧路市の北野はじめさんの協力により、鉄道模型(HOゲージ)の走行、平成元年に廃止された標津線の駅のジオラマや懐かしい写真が展示されました。走行する鉄道模型に大人も子どもも大興奮でした。



ふるさと講座・歴史系第2回目

「別海町歴史文化遺産を巡る(簡易軌道遺産編)」を開催しました。

6月24日(土)参加者10名で開催されました。講師は、当館文化財担当戸田博史主幹です。郷土資料館にて、殖民・簡易軌道敷設の背景、町内路線変遷の説明を映像など交えて詳細な説明を受けました。その後、車にて移動し簡易軌道遺産を見学しました。

①「旧別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所」では、待合室や客車に入り当時の雰囲気味わうことが出来ました。②「旧別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所」では、参加者とともに当時の線路の方向、商店など街並みの情景を確認することが出来ました。③「旧浜中町営軌道東円線(簡易軌道茶内線)上風蓮停留所」では、地元の人たちが発掘した転車台と生い茂る草をかき分け開南停留所跡を見学し、その痕跡を確認することが出来ました。室内での詳細なお話と現地での説明により、町歴史文化遺産に対する理解が深まりました。



別海町郷土資料館だより No.288

発行日 令和5年7月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

たよりのとおり、夏季事業が開催されます。特別展は、ウポポイや三重県松阪市での開催、夏休み奥行臼トロッコサンデーは、奥行地区の文化財の見学とあわせてトロッコ乗車体験が出来る特別な期間となります。ぜひ、ご来館・ご来場ください。